

常任委員会



決算特別委員会

総務委員会

開会日 9月29日(月)・10月2日(木)
案件 議案10件・陳情4件・報告7件等

●令和7年度豊島区一般会計補正予算(第3号)

返礼金を必要としないふるさと納税の寄附先に、区内の私立学校等を加えた経緯は。
複数の学校法人からの要望に加え、地域の教育機関がより発展することで、区の魅力がより増していくと考え、制度設計に至った。

寄附金の見込額と区に入る分の15%の使用の方向性は。

他区の実績より年間約4千500万円と想定し、15%の使途は、教育目的を考えている。

区民厚生委員会

開会日 9月29日(月)・10月2日(木)
案件 議案4件・陳情7件・報告4件等

●豊島区保健所の設置等に関する条例(一部改正)

池袋保健所が豊島区保健所と名称変更となるが周知方法は。

議決が得られれば11月から積極的に広報していく。

保健所移転に当たり休日診療所はどうなるのか。

今まで同様、内科・小児科及び歯科となる。

AIDS知ろう館、子ども事故予防センターの今後は。

移転先に同じ機能を残していきたいと考えている。

都市整備委員会

開会日 9月30日(火)
案件 陳情1件・報告4件等

●豊島区にバイク駐輪場を増やすことについての陳情

坂が多い地域の住民や高齢者の移動手段確保の観点からもバイクの駐輪環境整備には一定の公共性がある。この整備に中長期的に課題認識を持ち前向きに研究に取り組む意思はあるか。

今後、研究していきたい。

●公衆喫煙所設置に伴う周知活動等について

池袋駅西口に新設したコンテナ型公衆喫煙所の開設時間を24時まで延長したが、いかがか。

夜間は利用が増えている。

子ども文教委員会

開会日 9月30日(火)
案件 議案2件・陳情2件・報告7件等

●地方消費者行政の維持・強化のための対策を求める意見書を国会等に提出することを求める陳情

消費生活相談員の専門性向上の取組とその財源は。

国や都の交付金を活用し、積極的な研修参加による知識・対応力等の向上を促している。

消費者被害防止のための若年層に対する普及啓発は。

小中学校での出前講座が好評のため、今後更に増やす。また、大学等にも出向き講義する。

決算特別委員会

9月17日の本会議にて、令和6年度一般会計・国民健康保険事業会計・後期高齢者医療事業会計・介護保険事業会計の4会計決算を審査するため、18名の委員からなる決算特別委員会を設置しました。7日間にわたる質疑を行い、最終日の10月22日には、会派ごとに意見表明(要旨は8面)を行った後、採決を行い、いずれも賛成多数で認定することとしました。

以下、質疑内容等の概要をお知らせします。

政策経営費

●シティプロモーションについて

6年度に実施したシティプロモーション戦略の事業は。

漫画、アニメ、コスプレやストリートカルチャーと親和性の高いアーバンスポーツを柱に年間計画を構築し、民間企業と連携しながら実施した。

区民のシビックプライドを醸成していくための方策は。

インスタグラムなどのメディア活用や民間PR活動との連携などで推進していく。

●地域防災組織の育成について

多様な層が参加し、強固な地域防災体制の構築が重要だと考えるが、区の今後の方針は。

地域、町会の防災訓練に併せて、様々なイベントを通じて多くの方が楽しみながら防災を知れる機会を作っていきたい。

●町会活動活性化支援事業経費について

デジタル化支援の内容は。

電子回覧板や公式LINEアカウント導入等に向けた支援

と、町会若手役員を中心としたプラットフォームをLINE WORKSというアプリを活用し立ち上げ、町会間交流や情報交換を活発にしていく。

●障害者就労支援事業について

新たな障害者雇用モデルの実証実験の概要は。

遠隔地からのロボット操作による接客対応やサンシャイン水族館で餌詰め作業を短時間でいうなど2モデルを行った。

今後の広がりは。

事業の場をさらに拡大し障害者雇用を創出していきたい。

福祉費

●障害者就労支援事業について

新たな障害者雇用モデルの実証実験の概要は。

遠隔地からのロボット操作による接客対応やサンシャイン水族館で餌詰め作業を短時間でいうなど2モデルを行った。

今後の広がりは。

事業の場をさらに拡大し障害者雇用を創出していきたい。

衛生費

●産後ケア事業について

宿泊型の拡充や通所施設を区の西側にも設ける等、より利用しやすい制度設計を。

利用日数の増加や区全域の施設バランスも検討していく。

環境清掃費

●リチウムイオン電池等の回収事業について

事業の内容は。

リサイクル協力店回収対象外のリチウムイオン電池等を、ごみ減量推進課で回収する事業。

モバイルバッテリー等をごみ集積所等で回収することを検討すべきでは。区の見解は。

リサイクル・清掃審議会の意見や安全性等を踏まえ、より良い方法を考えていきたい。

都市整備費

●自転車駐車場管理運営事業について

区立自転車駐車場の新紙幣及びキャッシュレス決済対応の進捗状況は。

6年度は、16か所の駐輪場で整備が完了した。7年度は、追加で7か所の整備予定があり、年内には完了する予定である。

●文化商工費

●観光資源の活用について

豊島区にゆかりのあるマンガ・アニメ作品をどのように把握しているか。

「訪れてみたい日本のアニメ聖地88」やアニメ産業関係者との情報共有等により把握。今後も積極的に涉外活動を行う。

●子ども家庭費

●地域団体の支援について

子ども食堂などを運営している団体への支援は。

団体の負担軽減策として、食材費の補助等を実施した。

教育費

●部活動について

としま地域クラブの今後は。

国が13年度までに休日の部活動を地域クラブ化するとしており、環境整備に努める。

●小1の壁対策について

4月実施のおかえりサポートが10月から再開したが課題は。

4月の実施結果を踏まえ、

ルート等を見直した。

国民健康保険事業会計

●国民健康保険のデジタル化推進について

デジタル化推進の考えは。

マイナ保険証は医療DXの根幹になるが、登録率が低いため、区民にメリットを伝えて取得率や利用率を高めていきたい。

後期高齢者医療事業会計

●医療費の窓口負担について

窓口負担割合が2割の人数は。

7年8月末時点で6千928人。

介護保険事業会計

●在宅医療・介護連携事業について

在宅医療と介護連携が進んでいる理由と評価は。

区のサイズがコンパクトでかつ、四師会と区を中心に多職種連携が深まっているため。

患者を地域で支えるという意識を共有できている点が強み。

決算特別委員会委員名簿

◎委員長	◎副委員長
◎星 京子(都民ファーストの会・国民)	◎西山 陽介(公明党)
◎小林 弘明(無所属元気の会)	◎有里 真穂(自民党豊島区議団)
◎林 一葉(維新・無所属)	◎入江 あゆみ(維新・無所属)
◎川瀬 さなえ(立憲・れいわ)	◎北岡 あや子(公明党)
◎根岸 光洋(公明党)	◎松下 創一郎(自民党豊島区議団)
◎原田 たかき(都民ファーストの会・国民)	◎中山 よしと(都民ファーストの会・国民)
◎森 とおる(日本共産党)	◎高橋 佳代子(公明党)
◎芳賀 竜朗(自民党豊島区議団)	◎竹下 ひろみ(自民党豊島区議団)
◎さくま 一生(立憲民主)	◎小林 ひろみ(日本共産党)